

表 11.2(6) 事業計画の変更による変更箇所との対比

準備書	評価書																						
<p>P320</p> <p>(3) 予測結果 前項で設定した廃棄物等排出量原単位に延床面積を乗じて、供用時の事業活動に伴い排出される廃棄物の種類及び量を予測した。予測結果を表 5.9.9～表 5.9.12 に示す。</p> <p>計画施設から排出する廃棄物量（資源ごみ、焼却ごみ等含む。）は、百貨店が 2,504t/年、オフィスが 329t/年、ホテルが 307t/年と予測される。</p> <p>しかし、各種リサイクル対策（現在と同程度の取組みを実施した場合）を行うことによって、それぞれ 789t/年、174t/年及び 129t/年の排出が削減可能であり、排出される廃棄物量は、それぞれ 1,715t/年、155t/年及び 179t/年に減少すると予測される。</p> <p>各施設からの廃棄物排出量は、それぞれ平成 18 年度の大阪市における一般廃棄物排出量（事業ごみ 96.0 万 t）の 0.18%、0.02%及び 0.02%に相当する。これらの廃棄物については、現状と同様、「大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例」等の関係法令に基づき、適切に処理するとともに、その内容を関係機関に報告する。</p> <p>また、各施設から排出する廃棄物の最終処分量は表 5.9.13 に示すとおりであり、焼却処理後の焼却灰の発生量と埋立処分量は百貨店が 349t/年、オフィスが 31t/年、ホテルが 40t/年と予測される。それぞれ、大阪市における平成 18 年度一般廃棄物最終処分量約 31.6 万 t の 0.11%、0.01%、0.01%に相当すると予測される。</p> <p>リサイクル率向上のため、廃棄物の分類項目の検討や、従業員などへの啓発活動を行っているが、今後もこの活動を継続し、リサイクル率の向上を図るとともに、納品方法の見直し等、廃棄物の発生量低減にも取り組んでいく計画である。</p> <p>したがって、廃棄物の発生量・排出量は、さらに減少すると予測される。</p>	<p>P326</p> <p>(3) 予測結果 前項で設定した廃棄物等排出量原単位とリサイクル率から、供用時の事業活動に伴い排出される廃棄物の種類及び量を予測した。予測結果を表 5.9.9～表 5.9.12 に示す。</p> <p>なお、本予測結果は、バイオガスによるコジェネレーションの採用を踏まえ、環境影響評価準備書に記載した生ごみのリサイクル量を変更し、再計算した結果である。</p> <p>計画施設における廃棄物排出量（資源ごみ、焼却ごみ等含む。）は、百貨店が 2,504t/年、オフィスが 329t/年、ホテルが 307t/年と予測される。</p> <p>しかし、各種リサイクル対策を行うことによって、それぞれ 906t/年、174t/年及び 194t/年の排出がリサイクル可能であり、廃棄物排出量は、それぞれ 1,598t/年、155t/年及び 113t/年に減少し、リサイクル率は 41%と予測される。なお、バイオガスを利用したコジェネレーションの採用で、百貨店は 117t/年、ホテルは 66t/年の廃棄物排出量が準備書より削減できており、全体のリサイクル率は 35%から 41%に 6%上昇した。</p> <p>各施設からの廃棄物排出量は、それぞれ平成 18 年度の大阪市における一般廃棄物排出量（事業ごみ 96.0 万 t）の 0.17%、0.02%及び 0.01%に相当する。これらの廃棄物については、現状と同様、「大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例」等の関係法令に基づき、適切に処理するとともに、その内容を関係機関に報告する。</p> <p>また、各施設から排出される廃棄物の最終処分量は表 5.9.13 に示すとおりであり、焼却処理後の焼却灰の発生量と埋立処分量は百貨店が 326t/年、オフィスが 31t/年、ホテルが 26t/年と予測される。それぞれ、大阪市における平成 18 年度一般廃棄物最終処分量 31.6 万 t の 0.10%、0.01%、0.01%に相当すると予測される。</p> <p>リサイクル率向上のため、廃棄物の分類項目の検討や、従業員などへの啓発活動を行っているが、今後もこの活動を継続し、リサイクル率の向上を図るとともに、納品方法の見直し等、廃棄物の発生量低減にも取り組んでいく計画である。</p> <p>したがって、廃棄物の発生量・排出量は、さらに減少すると予測される。</p>																						
<p>P320</p> <p>(3) 予測結果 前項で設定した廃棄物等排出量原単位に延床面積を乗じて、供用時の事業活動に伴い排出される廃棄物の種類及び量を予測した。予測結果を表 5.9.9～表 5.9.12 に示す。</p> <p>計画施設から排出する廃棄物量（資源ごみ、焼却ごみ等含む。）は、百貨店が 2,504t/年、オフィスが 329t/年、ホテルが 307t/年と予測される。</p> <p>しかし、各種リサイクル対策（現在と同程度の取組みを実施した場合）を行うことによって、それぞれ 789t/年、174t/年及び 129t/年の排出が削減可能であり、排出される廃棄物量は、それぞれ 1,715t/年、155t/年及び 179t/年に減少すると予測される。</p> <p>各施設からの廃棄物排出量は、それぞれ平成 18 年度の大阪市における一般廃棄物排出量（事業ごみ 96.0 万 t）の 0.18%、0.02%及び 0.02%に相当する。これらの廃棄物については、現状と同様、「大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例」等の関係法令に基づき、適切に処理するとともに、その内容を関係機関に報告する。</p> <p>また、各施設から排出する廃棄物の最終処分量は表 5.9.13 に示すとおりであり、焼却処理後の焼却灰の発生量と埋立処分量は百貨店が 349t/年、オフィスが 31t/年、ホテルが 40t/年と予測される。それぞれ、大阪市における平成 18 年度一般廃棄物最終処分量約 31.6 万 t の 0.11%、0.01%、0.01%に相当すると予測される。</p> <p>リサイクル率向上のため、廃棄物の分類項目の検討や、従業員などへの啓発活動を行っているが、今後もこの活動を継続し、リサイクル率の向上を図るとともに、納品方法の見直し等、廃棄物の発生量低減にも取り組んでいく計画である。</p> <p>したがって、廃棄物の発生量・排出量は、さらに減少すると予測される。</p>	<p>表 5.9.9 阿部野橋ターミナルビル（タワー館）における廃棄物削減量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設</th> <th colspan="2">排出量 (t/年)</th> <th rowspan="2">削減率 (リサイクル率)</th> </tr> <tr> <th>リサイクルしない場合の排出量 (t/年)</th> <th>削減後の排出量 (t/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>百貨店</td> <td>2,504.2</td> <td>1,715.1</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>オフィス</td> <td>328.9</td> <td>154.6</td> <td>53.0%</td> </tr> <tr> <td>ホテル</td> <td>307.2</td> <td>178.7</td> <td>41.8%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,140.3</td> <td>2,048.4</td> <td>34.8%</td> </tr> </tbody> </table>	施設	排出量 (t/年)		削減率 (リサイクル率)	リサイクルしない場合の排出量 (t/年)	削減後の排出量 (t/年)	百貨店	2,504.2	1,715.1	31.5%	オフィス	328.9	154.6	53.0%	ホテル	307.2	178.7	41.8%	計	3,140.3	2,048.4	34.8%
施設	排出量 (t/年)		削減率 (リサイクル率)																				
	リサイクルしない場合の排出量 (t/年)	削減後の排出量 (t/年)																					
百貨店	2,504.2	1,715.1	31.5%																				
オフィス	328.9	154.6	53.0%																				
ホテル	307.2	178.7	41.8%																				
計	3,140.3	2,048.4	34.8%																				

表 11.2(7) 事業計画の変更による変更箇所との対比

準備書

P321

表 5.9.10 供用時における計画施設（百貨店）の廃棄物等発生量の予測結果

区分	廃棄物区分	原単位 (t/千㎡・年)	内訳	リサイクル率 しない場合 の排出量 (t/年)	リサイクル する場合の 排出量 (t/年)
紙類	OA紙 (ビニール紙) 等	8.6	25%	100%	0.0
	ダンボール	8.9	26%	100%	0.0
①紙類計					
紙類以外	生ごみ	5.1	15%	13%	326.7
	ビン類	0.0	0%	100%	1.2
	プラスチック	0.1	0%	61%	3.9
	缶類	0.4	1%	100%	27.8
	廃油	0.6	2%	100%	45.1
②紙類以外 計					
合計 (①+②)					

評価書

P327

表 5.9.9 供用時における計画施設（百貨店）の廃棄物等発生量の予測結果

区分	廃棄物区分	原単位 (t/千㎡・年)	内訳	リサイクル率 しない場合 の排出量 (t/年)	リサイクル する場合の 排出量 (t/年)
紙類	OA紙 (ビニール紙) 等	8.56	1.1%	100%	28.5
	ダンボール	8.94	26.4%	100%	683.4
①紙類計					
紙類以外	生ごみ	5.10	15.1%	44%	377.3
	ビン類	0.02	0.0%	100%	1.2
	プラスチック	0.05	0.2%	61%	3.9
	缶類	0.38	1.1%	100%	27.8
	廃油	0.61	1.8%	100%	45.1
②紙類以外 計					
合計 (①+②)					

表 5.9.11 供用時における計画施設（オフィス）の廃棄物等発生量の予測結果

区分	廃棄物区分	原単位 (t/千㎡・年)	内訳	リサイクル率 しない場合 の排出量 (t/年)	リサイクル する場合の 排出量 (t/年)
紙類	OA紙 (ビニール紙)	1.1	22%	100%	71.6
	OA紙以外	0.6	12%	100%	38.8
	新聞紙	0.2	5%	100%	14.9
	雑誌	0.1	2%	100%	7.5
	ダンボール	0.3	5%	100%	15.9
	その他	0.4	7%	0%	22.4
	①紙類計	2.7	52%	87%	171.0
紙類以外	生ごみ	0.0	0%	0%	1.5
	ビン類	0.0	0%	100%	3.0
	プラスチック	0.2	4%	100%	12.9
	缶類	0.2	3%	100%	9.7
	廃油	0.0	0%	0%	0.0
②紙類以外 計					
合計 (①+②)					

(注) 計画総床面積はオフィスに美術館と展望台を含めたもの

表 5.9.12 供用時における計画施設（ホテル）の廃棄物等発生量の予測結果

区分	廃棄物区分	原単位 (t/千㎡・年)	内訳	リサイクル率 しない場合 の排出量 (t/年)	リサイクル する場合の 排出量 (t/年)
紙類	OA紙 (ビニール紙)	0.0	0%	67%	0.7
	OA紙以外	0.0	0%	75%	0.5
	新聞紙	0.3	3%	100%	9.7
	雑誌	0.0	0%	100%	1.2
	ダンボール	0.8	8%	99%	25.1
①紙類計					
紙類以外	生ごみ	5.4	57%	0%	173.0
	ビン類	2.6	27%	99%	83.2
	缶類	0.0	0%	90%	1.2
	廃油	0.3	3%	100%	8.3
②紙類以外 計					
合計 (①+②)					

表 5.9.10 供用時における計画施設（オフィス）の廃棄物等発生量の予測結果

区分	廃棄物区分	原単位 (t/千㎡・年)	内訳	リサイクル率 しない場合 の排出量 (t/年)	リサイクル する場合の 排出量 (t/年)
紙類	OA紙 (ビニール紙)	1.15	22%	100%	71.6
	OA紙以外	0.62	12%	100%	38.8
	新聞紙	0.24	5%	100%	14.9
	雑誌	0.12	2%	100%	7.5
	ダンボール	0.25	5%	100%	15.9
	その他	0.36	7%	0%	22.4
	①紙類計	2.74	52%	87%	171.0
紙類以外	生ごみ	0.02	0%	0%	1.5
	ビン類	0.05	1%	100%	3.0
	プラスチック	0.21	4%	100%	12.9
	缶類	0.16	3%	100%	9.7
	廃油	0.0	0%	0%	0.0
②紙類以外 計					
合計 (①+②)					

表 5.9.11 供用時における計画施設（ホテル）の廃棄物等発生量の予測結果

区分	廃棄物区分	原単位 (t/千㎡・年)	内訳	リサイクル率 しない場合 の排出量 (t/年)	リサイクル する場合の 排出量 (t/年)
紙類	OA紙 (ビニール紙)	0.02	0%	67%	0.7
	OA紙以外	0.02	0%	75%	0.5
	新聞紙	0.30	3%	100%	9.7
	雑誌	0.04	0%	100%	1.2
	ダンボール	0.79	8%	99%	25.1
①紙類計					
紙類以外	生ごみ	5.43	57%	38%	173.6
	ビン類	2.60	27%	99%	83.2
	缶類	0.04	0%	90%	1.2
	廃油	0.26	3%	100%	8.3
②紙類以外 計					
合計 (①+②)					

表 11.2(8) 事業計画の変更による変更箇所との対比

準備書		評価書																																																																																																															
P322	<p>表 5.9.13 廃棄物の最終処分量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>処理方法</th> <th>廃棄物排出量 (t/年)</th> <th>灰化率</th> <th>最終埋立処分量 (t/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">百貨店</td> <td>焼却処理</td> <td>326.7</td> <td>20.3%</td> <td>66.3</td> </tr> <tr> <td>生ごみ等</td> <td>1,386.9</td> <td>-</td> <td>281.5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.5</td> <td>-</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">オフィス</td> <td>紙類</td> <td>22.4</td> <td>20.3%</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>1.5</td> <td>-</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>130.8</td> <td>-</td> <td>26.5</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ホテル</td> <td>紙類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>178.7</td> <td>-</td> <td>39.7</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">全体</td> <td>焼却処理</td> <td>154.6</td> <td>20.3%</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>0.7</td> <td>20.3%</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>173.6</td> <td>-</td> <td>35.2</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">合計</td> <td>焼却処理</td> <td>178.7</td> <td>20.3%</td> <td>41.4</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>1.5</td> <td>20.3%</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>130.8</td> <td>-</td> <td>26.5</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 灰化率は「大阪市環境白書 平成19年度版」(大阪市、平成19年)による 灰化率=焼却区(31.6万t)/焼却処理量(155.3万t)</p>	施設	処理方法	廃棄物排出量 (t/年)	灰化率	最終埋立処分量 (t/年)	百貨店	焼却処理	326.7	20.3%	66.3	生ごみ等	1,386.9	-	281.5	その他	1.5	-	1.5	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	オフィス	紙類	22.4	20.3%	4.5	生ごみ	1.5	-	0.3	その他	130.8	-	26.5	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	ホテル	紙類	0.0	-	0.0	生ごみ	0.0	-	0.0	その他	178.7	-	39.7	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	全体	焼却処理	154.6	20.3%	31.4	生ごみ	0.7	20.3%	0.1	その他	173.6	-	35.2	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	合計	焼却処理	178.7	20.3%	41.4	生ごみ	1.5	20.3%	0.3	その他	130.8	-	26.5	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	P328	<p>表 5.9.12 阿部野橋ターミナルビル(タワー館)における廃棄物削減量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>排出量 (t/年)</th> <th>リサイクルする 場合の排出 量 (t/年)</th> <th>削減率 (リサイクル率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>百貨店</td> <td>2,504.2</td> <td>1,598.3</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>オフィス</td> <td>328.9</td> <td>154.6</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>ホテル</td> <td>307.2</td> <td>113.0</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,140.3</td> <td>1,865.9</td> <td>41%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ①=①-② ③=①</p>	施設	排出量 (t/年)	リサイクルする 場合の排出 量 (t/年)	削減率 (リサイクル率)	百貨店	2,504.2	1,598.3	36%	オフィス	328.9	154.6	53%	ホテル	307.2	113.0	63%	計	3,140.3	1,865.9	41%
施設	処理方法	廃棄物排出量 (t/年)	灰化率	最終埋立処分量 (t/年)																																																																																																													
百貨店	焼却処理	326.7	20.3%	66.3																																																																																																													
	生ごみ等	1,386.9	-	281.5																																																																																																													
	その他	1.5	-	1.5																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
オフィス	紙類	22.4	20.3%	4.5																																																																																																													
	生ごみ	1.5	-	0.3																																																																																																													
	その他	130.8	-	26.5																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
ホテル	紙類	0.0	-	0.0																																																																																																													
	生ごみ	0.0	-	0.0																																																																																																													
	その他	178.7	-	39.7																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
全体	焼却処理	154.6	20.3%	31.4																																																																																																													
	生ごみ	0.7	20.3%	0.1																																																																																																													
	その他	173.6	-	35.2																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
合計	焼却処理	178.7	20.3%	41.4																																																																																																													
	生ごみ	1.5	20.3%	0.3																																																																																																													
	その他	130.8	-	26.5																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
施設	排出量 (t/年)	リサイクルする 場合の排出 量 (t/年)	削減率 (リサイクル率)																																																																																																														
百貨店	2,504.2	1,598.3	36%																																																																																																														
オフィス	328.9	154.6	53%																																																																																																														
ホテル	307.2	113.0	63%																																																																																																														
計	3,140.3	1,865.9	41%																																																																																																														
P322	<p>表 5.9.13 廃棄物の最終処分量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>処理方法</th> <th>廃棄物排出量 (t/年)</th> <th>灰化率</th> <th>最終埋立処分量 (t/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">百貨店</td> <td>焼却処理</td> <td>209.9</td> <td>20.3%</td> <td>42.6</td> </tr> <tr> <td>生ごみ等</td> <td>1,386.9</td> <td>-</td> <td>281.5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.5</td> <td>-</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">オフィス</td> <td>紙類</td> <td>22.4</td> <td>20.3%</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>1.5</td> <td>-</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>130.8</td> <td>-</td> <td>26.5</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ホテル</td> <td>紙類</td> <td>0.7</td> <td>20.3%</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>107.9</td> <td>-</td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>ビン類</td> <td>0.6</td> <td>-</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">全体</td> <td>焼却処理</td> <td>154.6</td> <td>20.3%</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>0.7</td> <td>20.3%</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>113.0</td> <td>-</td> <td>26.4</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">合計</td> <td>焼却処理</td> <td>154.6</td> <td>20.3%</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td>生ごみ</td> <td>1.5</td> <td>20.3%</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>130.8</td> <td>-</td> <td>26.5</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>0.0</td> <td>-</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 灰化率は「大阪市環境白書 平成19年度版」(大阪市、平成20年)による 灰化率=焼却区(31.6万t)/焼却処理量(155.3万t) 四捨五入の関係上、焼却処理と埋立処分を足し合わせた数は合計と一致しない</p>	施設	処理方法	廃棄物排出量 (t/年)	灰化率	最終埋立処分量 (t/年)	百貨店	焼却処理	209.9	20.3%	42.6	生ごみ等	1,386.9	-	281.5	その他	1.5	-	1.5	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	オフィス	紙類	22.4	20.3%	4.5	生ごみ	1.5	-	0.3	その他	130.8	-	26.5	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	ホテル	紙類	0.7	20.3%	0.1	生ごみ	107.9	-	21.9	ビン類	0.6	-	0.6	その他	0.1	-	0.1	全体	焼却処理	154.6	20.3%	31.4	生ごみ	0.7	20.3%	0.1	その他	113.0	-	26.4	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	合計	焼却処理	154.6	20.3%	31.4	生ごみ	1.5	20.3%	0.3	その他	130.8	-	26.5	廃プラスチック類	0.0	-	0.0	P328	<p>表 5.9.12 阿部野橋ターミナルビル(タワー館)における廃棄物削減量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>排出量 (t/年)</th> <th>リサイクルする 場合の排出 量 (t/年)</th> <th>削減率 (リサイクル率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>百貨店</td> <td>2,504.2</td> <td>1,598.3</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>オフィス</td> <td>328.9</td> <td>154.6</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>ホテル</td> <td>307.2</td> <td>113.0</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,140.3</td> <td>1,865.9</td> <td>41%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ①=①-② ③=①</p>	施設	排出量 (t/年)	リサイクルする 場合の排出 量 (t/年)	削減率 (リサイクル率)	百貨店	2,504.2	1,598.3	36%	オフィス	328.9	154.6	53%	ホテル	307.2	113.0	63%	計	3,140.3	1,865.9	41%
施設	処理方法	廃棄物排出量 (t/年)	灰化率	最終埋立処分量 (t/年)																																																																																																													
百貨店	焼却処理	209.9	20.3%	42.6																																																																																																													
	生ごみ等	1,386.9	-	281.5																																																																																																													
	その他	1.5	-	1.5																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
オフィス	紙類	22.4	20.3%	4.5																																																																																																													
	生ごみ	1.5	-	0.3																																																																																																													
	その他	130.8	-	26.5																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
ホテル	紙類	0.7	20.3%	0.1																																																																																																													
	生ごみ	107.9	-	21.9																																																																																																													
	ビン類	0.6	-	0.6																																																																																																													
	その他	0.1	-	0.1																																																																																																													
全体	焼却処理	154.6	20.3%	31.4																																																																																																													
	生ごみ	0.7	20.3%	0.1																																																																																																													
	その他	113.0	-	26.4																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
合計	焼却処理	154.6	20.3%	31.4																																																																																																													
	生ごみ	1.5	20.3%	0.3																																																																																																													
	その他	130.8	-	26.5																																																																																																													
	廃プラスチック類	0.0	-	0.0																																																																																																													
施設	排出量 (t/年)	リサイクルする 場合の排出 量 (t/年)	削減率 (リサイクル率)																																																																																																														
百貨店	2,504.2	1,598.3	36%																																																																																																														
オフィス	328.9	154.6	53%																																																																																																														
ホテル	307.2	113.0	63%																																																																																																														
計	3,140.3	1,865.9	41%																																																																																																														

表 11.2(9) 事業計画の変更による変更箇所との対比

準備書	評価書
<p>P323</p> <p><b>B) 評価結果</b>            計画施設において、既存店（百貨店）や類似施設（オフィス・ホテル）と同様に廃棄物の発生・排出抑制対策として、分別回収、再生・リサイクルをさらに強化するよう啓発活動を行い、廃棄物の発生抑制、適正処理とリサイクルを推進していく計画である。それらを考慮した上で、既存・類似施設の廃棄物排出量を参考に算定した本施設の廃棄物発生量は2,048t/年、リサイクル率は35%と予測される。            さらに、本計画施設においては、「大阪市ごみ減量アクションプラン」や「大阪市一般廃棄物処理基本計画」を踏まえ、廃棄物の3R(Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用))の推進を図るため、以下に示す対策を構ずる計画である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル率が低い生ごみについては従業員への分別指導、分別回収の強化を図り、リサイクル率の向上を図る。</li> <li>・各テナントに対して、廃棄物排出量の削減、リサイクル率向上のための取組みについて周知し、協力を依頼する。</li> </ul> <p>以上のことから、環境保全目標を満足するものと評価する。</p>	<p>P329</p> <p><b>B) 評価結果</b>            計画施設において、既存店（百貨店）や類似施設（オフィス・ホテル）と同様に廃棄物の発生・排出抑制対策として、分別回収、再生・リサイクルをさらに強化するよう啓発活動を行い、廃棄物の発生抑制、適正処理とリサイクルを推進していく計画である。また、バイオガスを用いたコージェネレーションを導入し、百貨店とホテルの厨房から発生する生ごみを電気・熱エネルギーとして再利用するなど、食品廃棄物等の排出抑制と、資源としての有効利用の推進に取り組む計画である。それらを考慮した上で、既存・類似施設の廃棄物排出量を参考に算定した本施設の廃棄物排出量は1,866t/年、リサイクル率は41%と予測される。            さらに、本計画施設においては、「大阪市ごみ減量アクションプラン」や「大阪市一般廃棄物処理基本計画」を踏まえ、廃棄物の3R(Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用))の推進を図るため、以下に示す対策を構ずる計画である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員への分別指導、分別回収の強化を図り、リサイクル率の向上を図る。</li> <li>・廃棄物の減量化・再資源化をより一層推進するため、入居テナントに対して、廃棄物排出量の削減、リサイクル率向上のための取組みについて周知・指導を継続的に行う。</li> </ul> <p>以上のことから、環境保全目標を満足するものと評価する。</p>